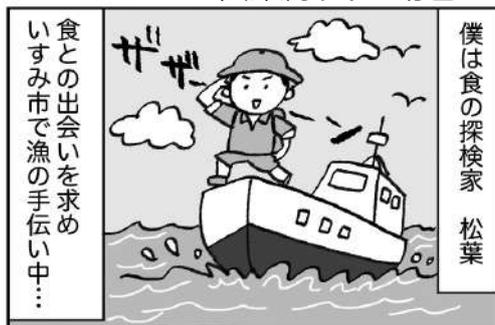


地域おこし協力隊奮闘記 ～松葉隊員の場合～



作者：小池ぬーみん



1

FOODが風土を作る

こんにちは、地域おこし協力隊の松葉です。

「FOODが風土を作る」を合言葉に、いすみ市の文化を「繋ぎ」・「広げ」・「楽しむ」商品企画開発を行っています。

いすみ市の豊かな自然の中で育まれた様々な農水産物の魅力に、更なる付加価値や新たな可能性を乗せています。

て、少しでも多くの方々に届けたいと考えています。

いすみ市の魅力を届けやすい形に！

市の新たな魅力を広げ、

繋ぎ、お楽しみいただけるような取り組みをしていきたいと考えています。例えば、いすみ市の名産の1つであるタコを「誰かに届けたい」としても、1匹そのままでは送る方も、買った方も慣れていない人だと大変です。

そこで、その「誰かに届けたい」という気持ちを、「使い方」・「食べ方」・「見せ方」に工夫を加え、届けやすい形に変換していく事で、いすみ市の風土（FOOD）を、より多くの人達に繋げ、届けられるようになります。

商品開発、地元の方からの貴重なご意見

今回は、タコを使用し、「タコのパウンドケーキ」と「タコカレー」を商品として開発し、地元の料理人や漁師の方々、生産者の方々にご試食いただき、アンケートにご協力いただきました。ケーキのイメージで試食したが、甘くなかったので、ケーキという名前

は付けない方が良いというご意見や、タコカレーはどこにでもある商品なので、いすみ市らしさが足りない、差別化を図って欲しい

写真の説明

- ①地域おこし協力隊 松葉孝浩さん
- ②タコのパウンドケーキ
- ③タコカレー
- ④商品試食会

など、貴重なご意見をいただきました。いすみ市を代表する商品となるよう、改善していきたいと思っています。「届けたい」という想いに、「美味しい」で寄り添える、そんな企画が生まれる様に引き続き頑張りたいと思います。



4



3



2